



Wildlife Management Office

行政をサポートする 専門人材の育成について

～野生動物管理のプロ人材の育成～

**株式会社野生動物保護管理事務所
広島事業所長 清野紘典**

業務案内



業務実績 Business Results

全国規模での多様な実務

国立公園関係事業(環境省)
森林被害防除関連事業(林野庁)
研修事業(農水省ほか)
特定計画の立案・作成(全国都道府県)
生息状況調査(全国都道府県／市町村)
調査捕獲、個体数調整などの捕獲事業
(全国都道府県／市町村)





現場の獣害対策から国の施策立案まで総合的にサポート

コンサルティング

野生動物の保護・管理における課題解決にむけて多面的な支援を行います。

モニタリング

野生動物の生息状況や被害状況、生息環境に関わるモニタリングを提案・実施します。

解析

収集したデータを適切な手法を用いて解析します。また、遺伝分析や年齢査定など野生動物の特性に関わる分析も行います。

捕獲

目的に合った様々な方法による捕獲を提案・実施します。

計画

野生動物の保護・管理に関わる計画の策定・実行・見直しを支援します。

被害防除

野生動物の被害防除に必要な情報提供、普及啓発を行い、対策実行を支援します。

普及

野生動物と人の問題を知っていただくための様々な活動を行っています。

研究

野生動物の保護・管理に関わる様々な技術開発や試験を行い、成果を公表しています。

会社沿革

1990年代初頭
全国的に鳥獣被害が増加

1999年 鳥獣法改正
特定計画制度

2013年 農水省・環境省
「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」

2015年 鳥獣法改正
認定鳥獣捕獲等事業者制度

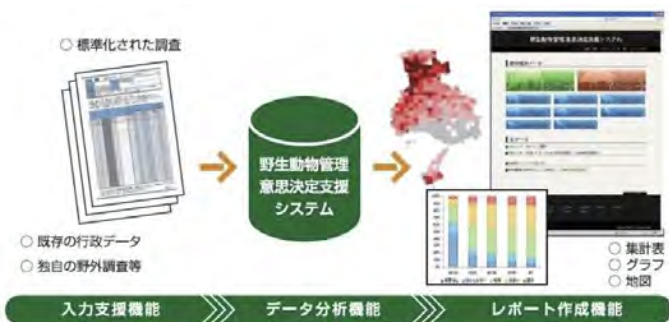
<会社沿革>

1983年 東京都にて創業
1998年 兵庫県に事業所開設
2002年 遺伝情報解析室・
2014年 計画策定支援室 開設
2015年 認定鳥獣捕獲等事業者に登録
2020年 広島県に事業所開設
2023年 職員数 77名、資本金 5,200万円

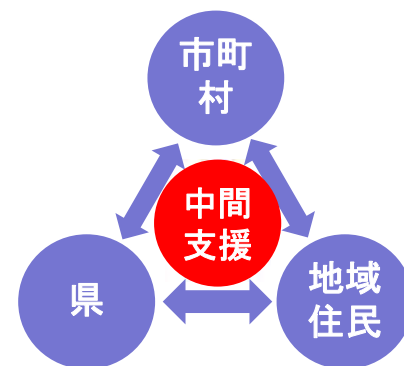
求められる人材



✓ 優れた技術を習得し、熱意をもって鳥獣問題を解決できる人



ワイルドライフ
マネージャー



求められる人材



✓ 優れた技術を習得し、熱意をもって鳥獣問題を解決できる人

＜専門人材＞

農水省	農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー	6名
環境省	鳥獣保護管理プランナー	21名
	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター	22名
	鳥獣保護管理調査コーディネーター	26名
銃所持 獣医師 博士	延べ62名（猟銃 17名 麻酔銃 45名）	
	9名	
	13名	



- 人材育成方針とアクションプランの作成
- 研修期間（1年～3年）
- 研修プログラム（座学・実習・OJT）
- 技術習得レベルの評価
- 職務に応じた研修（OFF-JT）
- プロジェクトサポート制
- チーム制（師弟制）の導入
- 各種制度（自主研究・海外研修制度、学会参加補助制度、論文報償費制度、資格補助制度）



＜人材の確保＞

●採用

インターン・企業説明会・経験者採用・新卒採用

●離職率を下げる

10年平均 2.06%

●職員が心豊かに生き生きと働ける環境づくり

多様な勤務形態➢裁量労働制・時短勤務・在宅勤務

ライフワークバランス➢育児介護休暇と有給休暇の取得推進

メンタルヘルスケア➢「心の健康づくり計画」産業医の配置

ハラスメント➢ハラスメント防止規定



WMO職員数の推移

